

2024年8月27日

日本原子力発電株式会社東海事業本部 御中

日本共産党茨城県委員会

委員長 上野 高志

茨城県議 江尻 加那

東海村議 大名美恵子

東海第二発電所の防潮堤工事に関わる質問書(4回目)

現在実施中の東海第二発電所の安全性向上対策工事について、下記事項の質問に回答いただけますようお願いいたします。

記

1. 工事完了を2024年9月から2026年12月に延長することについて、施工不良のあった鋼製防護壁の地中連続壁をどのようにやり直すのか原子力規制委員会での審査が終わっていないにも関わらず、そのタイミングで2年3か月の工期延長で完了できると結論付けた根拠を示してください。
2. 鋼製防護壁に隣接する鉄筋コンクリート防潮壁の地中連続壁基礎（B基礎）についても、施工不良の有無を公表するとともに、その根拠を示してください。B基礎は、施工不良のあった鋼製防護壁の地中連続壁基礎（南北2か所のA基礎）と同じJV（共同企業体）が施工し、同じエリアで同じ工法、同程度の深さであることから同様の施工不良が起きている可能性を否定できません。その事実があるとの証言が工事関係者から寄せられています。B基礎にはすでに上部工の鉄筋コンクリート防潮壁が設置されていることから基礎部分を目視できない現状にありますが、基礎周囲を掘るなどの調査を行って施工不良の有無を明らかにしてください。
3. 鋼製防護壁の地中連続壁基礎（南北2か所のA基礎）における一連の施工不良について、コンディションレポートでいつどのように報告され、CRMやCAP会議でどのように対策を検討したのか示してください。また、原子力規制委員会の現地検査官からどのような検査を受けてきたのか経過を明らかにしてください。

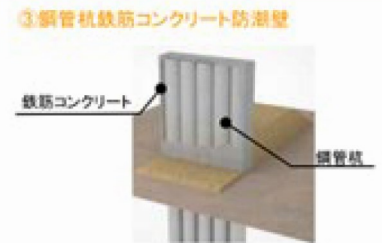
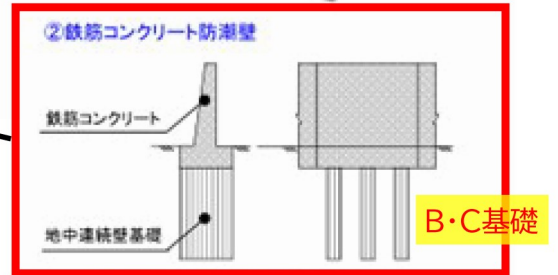
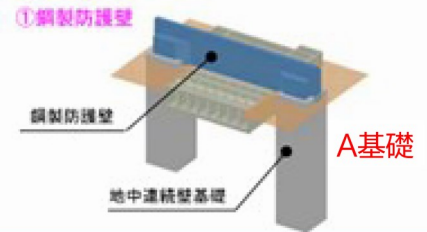
4. 施工不良のあった取水口部の防潮堤工事の他にも 2024 年 9 月に完了しない対策工事の有無と、遅れている工事内容や進捗状況を示してください。
5. 日本共産党議員団として東海第二発電所の現地視察を行いたいと 7 月から依頼しておりますが、視察日程の見通しを示してください。
6. 使用済燃料を保管する乾式キャスク（計 24 基）について、残り 7 基の製造スケジュール及び燃料プールからキャスクへの移管見通しを示してください。
7. 2023 年 10 月 31 日に発生した原子炉建屋照明安定器の焦げ跡を含めた 4 件の火災について、県に報告書第 2 報を提出していないのは何故か。提出の見通しを示してください。

以 上

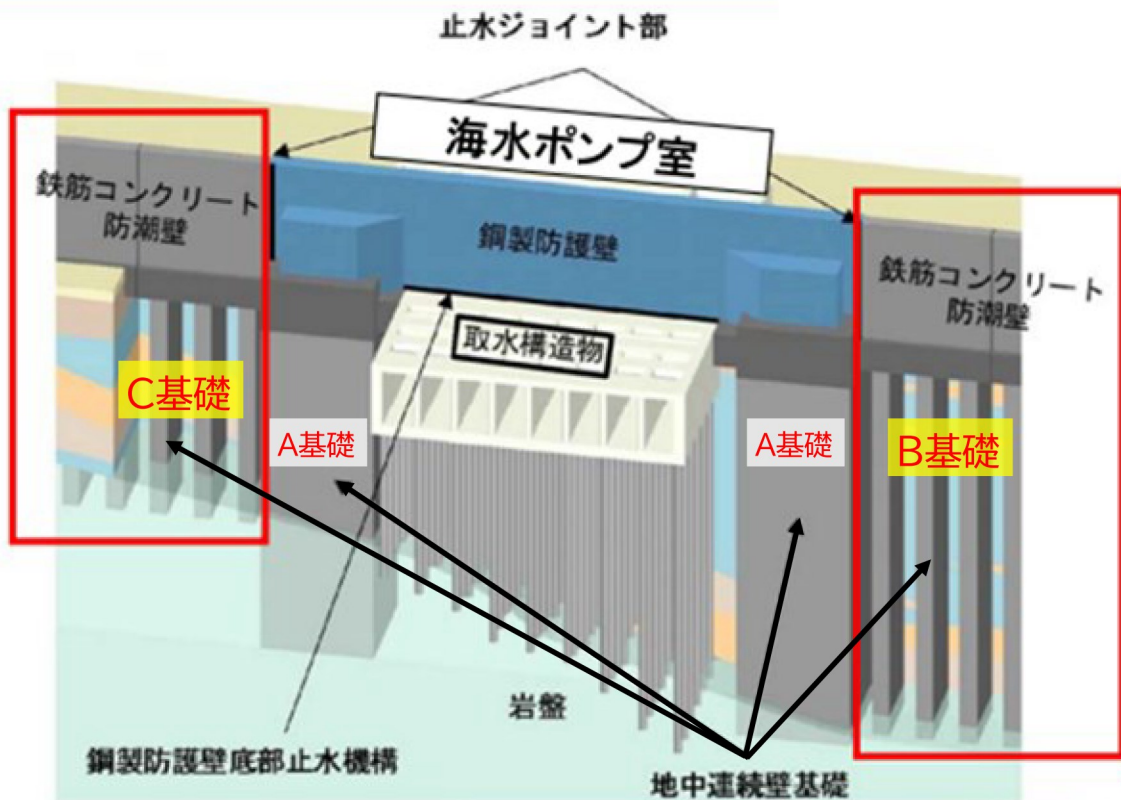
■新たな告発があった鉄筋コンクリート防潮壁の地中連続壁基礎(B基礎)

※日本原電の資料に加筆したもの

○ 地上部から敷地への津波の流入を防止するため、敷地を取り囲む形で防潮堤を設置



防潮堤の構造イメージ



8月21日に日本共産党茨城県委員会・議員団が行った原子力規制庁との交渉メモ

(文責：江尻加那)

<日本共産党の要望項目>

東海第二原発の防潮堤工事について、日本原電が報告している連続地中壁 A 基礎（北基礎・南基礎）に加え、同じ建設会社が施工した鉄筋コンクリート防潮壁の地中連続壁 B 基礎においても、コンクリート未充填や鉄筋変形が起きているとの証言が寄せられている。原子力規制委員会において、B 基礎の施工不良の有無を調査・報告するよう日本原電に求めること。

<原子力規制庁の回答> ※音声を文字起こししたもの

規制庁からお答えいたします。まずは検査の枠組みの説明をさせていただきますが、原子力安全の一義的な責任というものは事業者にあります。新規制基準適合のための安全対策工事を含めて、原子力の安全確保に関する工事や活動についても、原子力事業者が法令上の要件に沿って適切に実施する必要がございます。

原子力事業者は、工事をする際に法令に基づいて自らの組織を管理・監督するための品質マネジメントシステムを構築し、それに基づいて施工不良などの発生を防止するための管理プロセスを構築。施工不良などが発生した場合にも、適切に是正措置を行うことが求められます。

これを踏まえ、規制委員会としては、原子力事業者が実施する多数の工事、そのすべての施工状態を規制庁検査官が検査で確認することは実質的に不可能ですので、事業者が適切に工事の作業工程を管理し、不適合等が発生した場合には是正措置が確実に実施されているかどうかについて検査で厳格に確認していくことになります。

例えば、今回の不適合の事象、コンクリートの未充填等を念頭に置いて検査の中でしっかり確認してまいります。

ご指摘の B 基礎は、今審査している A 基礎の両側のコンクリート壁のことですけれども、現状は事業者から申請された対象に入っていません。当然、設計変更があれば、設工認申請が出てくる行政上の手続きになっているわけですけれども、そもそも B 基礎については、現時点で事業者の不適合管理、コンディションレポートの中で不適合として管理されている状況ではないと認識しております。B 基礎に施工不良があるという認識は事業者もしていないと思いますし、我々も現時点でそれを確認していません。ですので、B 基礎の状況がどうなのかというのは（使用前）検査の中では確認されることになると思いますが、現状でどういう施工不良があるのかという情報は我々持っていないという認識です。（以上）

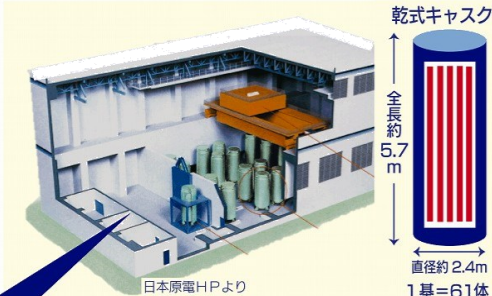
茨城県内の原子力施設の火災

No.11 までは、茨城県原子力安全対策作成 「令和5年度事故・故障発生状況一覧（令和6年2月22日現在）」より。No.12以降は、日本共産党茨城県議団で追加したもの。

No.	発生年月日	事業所	事故・故障等の名称	事例分類※	概要	法令報告
1	23. 4. 10	サイクル研	駐車場における自家用車両火災	火災（非管）	請負会社社員の自家用車から出火し、消火器により消火した。	－
2	23. 4. 12	三菱原燃	技術センター棟社員食堂厨房での焦げ跡発見	火災（非管）	電気ウォーマーテーブルの電源が切れていたため、厨房責任者がコンセントプラグを確認したところ、焦げ跡を確認	－
3	23. 4. 25	原科研	J-PARC MR 第2電源棟における火災発生	火災（非管）	加速器の調整中に電磁石電源における温度の異常が確認されたため、電源盤を確認したところ、トランスからの出火を確認。	－
4	23. 6. 22	原科研	J-PARC ハドロン電源棟における火災発生	火災（管理）	ビーム調整運転中にインタロックシステムによりビーム停止直後、火災報知器が発報。電源装置の転極器から出火確認。	－
5	23. 7. 19	原電	東海第二サービス建屋ランドリー室乾燥機制御盤内端子台に焦げ跡	火災（管理）	23. 7. 10に当該乾燥機がエラーにより自動停止。メーカーに点検を依頼。点検結果、制御盤端子台に焦げ跡確認。	－
6	23. 10. 17	JCO	電源盤内コンセントプラグに焦げ跡	火災（管理）	スポットクーラーを接続していた電源盤から発煙。電源盤内のコンセントプラグを確認したところ焦げ跡を確認	－
7	23. 10. 31	原電	東海第二原子炉建屋 2階北東側天井照明安定器の焦げ跡	火災（管理）	照明回路の絶縁抵抗の低下が確認されたことから照明の点検を行っていたところ、当該照明の安定器に焦げ跡らしきものを発見。	－
8	23. 11. 7	原電	東海第二モルタル建屋1階空気圧縮機からの発煙	火災（非管）	空気圧縮機に供給する電源盤のブレーカーを入れたところ、当該空気圧縮機の空気乾燥機部筐体カバーから発煙と焦げの臭いを確認	－
9	23. 11. 9	原電	東海第二屋外照明用ブレーカーからの火花の確認	火災（非管）	屋外照明用のブレーカーを入れたところ、当該ブレーカー端子部から火花と焦げの臭いを確認	－

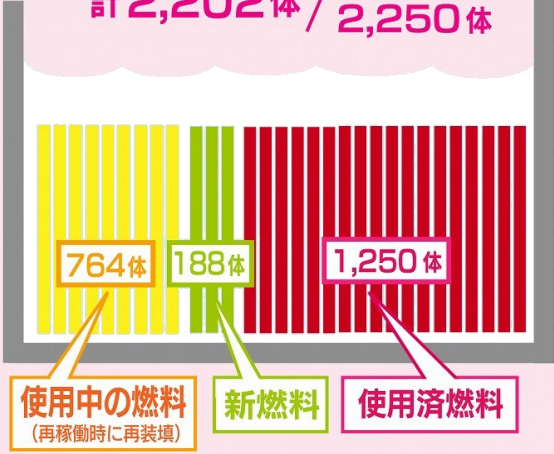
10	24. 2. 2	原電	原子炉建屋 2 階北西側天井部電線管付近の火花及び焦げ跡らしきもの確認	火災 (管理)	天井用照明スイッチを入れた所、天井部電線管から火花を確認。当該スイッチを切った所、火花はおさまった。電線管付近に焦げ跡らしきものを確認	—
11	24. 2. 16	サイクル研	個人被ばく管理等における火災	火災 (非管)	天井埋め込み型エアコン(5台)を更新し、試運転を実施したところ、当該エアコン本体(2台)から出火及び発煙を確認。その他、2台の焦げ跡を確認。	—
12	24. 3. 15	核燃料開発	材料研究棟精密測定室において火災	火災 (非管)	ナトリウムの安定化作業中、ナトリウムが発火	?
13	24. 5. 22	原科研	タンデム加速器建家における焦げ跡	火災 (管理)	同建家2階のホット機械室(管理区域)において、計装盤で焦げ跡を発見	?
14	24. 6. 17	サイクル研	蛍光灯周辺から火花と発煙を確認	火災 (非管)	再処理廃止措置技術開発センター内管理事務棟2階レストルームにおいて蛍光灯の照明スイッチを入れたところ、蛍光灯周辺から火花と発煙を確認	?
15	24. 7. 5	原科研	冷凍機の電源端子部に溶融痕及び焦げ跡を発見	火災 (非管)	J-PARCセンターリニアック棟1階冷却水ワールド機械室3の冷凍機で異常を確認し停止させ調査を行っていたところ、電源端子部に溶融痕及び焦げ跡を発見	?

東海第2原発 核燃料保有状況



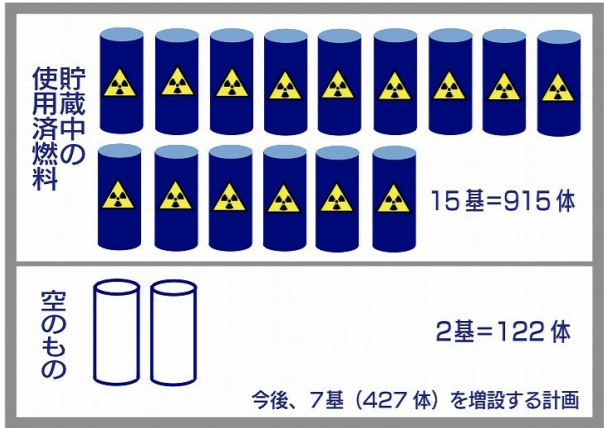
燃料プール (水冷)

計 2,202 体 / 貯蔵容量 2,250 体



乾式キャスク貯蔵施設 (空冷)

915 体 / 貯蔵容量 1,037 体



日本共産党茨城県議団作成資料